

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

8427

# XP-002214475

AN - 1981-06676D [05]

A - [001] 011 028 04- 147 198 231 240 252 31- 336 398 512 525 532 537 603  
61- 645 663 678 688 720

AP - JP19790058117 19790514

CPY - JOHN-N

DC - A97 D25 P22

FS - CPI;GMPI

IC - A43B3/00 ; C11D3/37

KS - 0013 0231 1279 1588 1981 2002 2014 2559 2575 2701 2708 2766 2854

MC - A03-A01 A12-F01 A12-W12D D11-A03 D11-B10 D11-B11 D11-B14 D11-B16  
D11-D01 D11-D07

PA - (JOHN-N) JOHNSON KK

PN - JP55151099 A 19801125 DW198105 000pp

- JP62041999B B 19870905 DW198739 000pp

PR - JP19790058117 19790514

XIC - A43B-003/00 ; C11D-003/37

AB - J55151099 Compsn. is obtd. by adding 0.2-2.0 wt.% water-soluble cellulose deriv. (e.g. CMC, methylcellulose, hydroxyethylcellulose, etc.), of viscosity at least 50 cps (for 1 wt.% aq. soln. at 25 deg.C) and an etherification degree of at least 0.8 to an aq. detergent soln. contg. up to 25wt.% a surfactant, e.g. nonionic surfactant of a 8-18C alcohol series, etc. together with builder(s), fluorescent dyes, blue dyes, and fungicide.

- The compsn. has excellent deterging power for sport shoes as well as in polluted water dispersiveness, restraining inhibiting effect, skin-chapping inhibiting effect. Liq. detergent compsn. can be used as it is as its viscosity is regulated in advance.

- In an example, 2.0% polyoxyethylene (9.0) alkyl (11-14C) ether, 3.0% polyoxyethylene (12.0) alkyl (11-14C) ether, 1.5% sodium tripolyphosphate, 1.0% isopropyl alcohol, 0.1% a perfume, 0.1% a fungicide, 0.05% a fluorescent whitening agent, 0.001% a blue dye, 0.8% CMC, and water were mixed to obtain a liq. detergent compsn. of a viscosity of 200 cps (25 deg.C).

AW - CMC CARBOXYMETHYL METHYLCELLULOSE HYDROXYETHYL

AKW - CMC CARBOXYMETHYL METHYLCELLULOSE HYDROXYETHYL

IW - LIQUID DETERGENT COMPOSITION TREAT SPORTS SHOE OBTAIN ADD WATER  
SOLUBLE CELLULOSE DERIVATIVE AQUEOUS DETERGENT SOLUTION SURFACTANT  
BUILD DYE

IKW - LIQUID DETERGENT COMPOSITION TREAT SPORTS SHOE OBTAIN ADD WATER  
SOLUBLE CELLULOSE DERIVATIVE AQUEOUS DETERGENT SOLUTION SURFACTANT  
BUILD DYE

NC - 001

OPD - 1979-05-14

ORD - 1980-11-25

PAW - (JOHN-N) JOHNSON KK

TI - Liq. detergent compsn. for treating sports shoes - obtd. by adding water soluble cellulose deriv. to aq. detergent soln. surfactant, builder, dye etc.

⑬ 日本国特許庁 (JP)

⑭ 特許出願公開

⑫ 公開特許公報 (A)

昭55-151099

⑮ Int. Cl.<sup>3</sup>

識別記号

庁内整理番号

⑯ 公開 昭和55年(1980)11月25日

C 11 D 3/37

7419-4H

発明の数 1

// A 43 B 3/00

6358-4F

審査請求 有

(全 3 頁)

⑭ 運動靴用液体洗剤組成物

⑰ 発明者 杉田勝義

神奈川県中郡大磯町石神台 1-3-10

⑱ 特 願 昭54-58117

⑲ 出 願 昭54(1979)5月14日

⑳ 出 願 人 ジョンソン株式会社

㉑ 発 明 者 山本祥郎

神奈川県中郡大磯町国府本郷字北川699番の1

平塚市平塚1012番地

明 細 書

1. 発明の名称

運動靴用液体洗剤組成物

2. 特許請求の範囲

1) 界面活性剤を25重量%以下含有する水溶液洗剤であつて、これに水溶性セルロース誘導体を加え、液の粘度を20～1,000センチポイズに調節してなる運動靴用液体洗剤組成物。

2) 特許請求の範囲第1項記載の界面活性剤が、非イオン界面活性剤である運動靴用液体洗剤組成物。

3) 特許請求の範囲第1項記載の水溶性セルロース誘導体がカルボキシメチルセルロースである運動靴用液体洗剤組成物。

4) 特許請求の範囲第3項記載のカルボキシメチルセルロースが、その1重量%水溶液の25℃における粘度が50センチポイズ以上で、かつエーテル化度が0.8以上のものである運動靴用液体洗剤組成物。

5) 特許請求の範囲第1～第4項記載の液体洗

剤組成物が、ビルダール、螢光染料、青色染料及び殺菌剤の1種又は2種以上を含有してなる運動靴用液体洗剤組成物。

3. 発明の詳細な説明

本発明は運動靴用液体洗剤組成物に関する。詳しくは運動靴の洗剤として、簡易かつ効果的に使用できる新しいタイプの液体洗剤組成物に関する。

従来、ズック靴、キャンパスシューズ、ビニールシューズ、スゴーツシューズ等の運動靴の洗浄には、一般洗剤用の粉状或いは液体洗剤を適宜使用して、その汚れをとることが行なわれている。しかしながら、これらの洗剤は、洗剤の粘度が可成り高いので、洗浄後の泡切れが悪いと云う欠点があつた。

本発明者らは上記の欠点に鑑み、運動靴用として簡易かつ、効果的に使用できる洗剤について種々検討した結果、低粘度の界面活性剤と水溶性セルロース誘導体とを組合せた液体洗剤が、運動靴用として最も好適であることを知見し本発明を完成した。すなわち、本発明の要旨は、界面活性剤

(1)

(2)

を25重量%以下含有する水溶液洗剤であつて、これに水溶性セルロース誘導体を加え液の粘度を20～1,000センチポイズに調節してなる運動用液体洗剤組成物に存する。

次に本発明を詳細に説明するに、本発明において界面活性剤としては、一般に市販されているものが用いられる。とくに運動用としては、泡立ち及び水洗する場合の泡切りのよいものが好ましく、この点からは非イオン界面活性剤が好適に用いられる。また、運動用の汚れはドロを主体とするので、界面活性剤のHLBとして14程度のものが好ましく、例えば0.1～0.11、好ましくは0.11～0.12程度の高級アルコール系非イオン界面活性剤などが用いられる。

界面活性剤の濃度としては、25重量%以下、好ましくは15重量%以下、更に好ましくは10重量%以下が選ばれる。濃度の下限としては余り少ないと洗剤としての効力がなくなるので0.2重量%以上、好ましくは2.0重量%以上が選ばれる。かくして本発明の洗剤は、運動用の洗剤として必

(3)

本発明の洗剤は、更に必要に応じてトリポリリン酸ソーダ、ピロリン酸ソーダ等のビルダ-類、香料類、洗浄後の仕上げ増白のための蛍光染料、親水性溶剤類或いは溶媒性のための殺菌剤等を適宜の割合で含有することもできる。

本発明の液体洗剤組成物を製造するには、先ず界面活性剤、ビルダ-類、蛍光染料等の粉末体を常法により水に溶解したのち、次いで、水溶性セルロース誘導体を予め親水性の溶剤又は界面活性剤で前処理したものを加える。親水性の溶剤としては、例えばイソプロピルアルコールなど、また界面活性剤としては、例えばポリオキシエチレン(9モル)、アルキル(0.11～0.12)エーテルなどが好適に用いられる。水溶性セルロース誘導体を溶解したのち、前記の粉末体を溶解する方法では完全溶解はできない。水溶性セルロース誘導体は一般に水に完全溶解しにくく、強く攪拌しながら徐々に水中に加えることにより成程度溶解することはできるが、長時間を要した、ママコの状態で未溶解のまま残存することが多い。このため、

(5)

要にして十分な泡立ちを有し、しかも水洗時の泡切りが容易である。

本発明において、このように低濃度の界面活性剤を基本とするので概してサラツとしており、これを運動用の洗剤として用いる場合、或る程度の粘度をもたせることにより洗剤との接触を密にする必要がある。この目的のため本発明では、水溶性セルロース誘導体を加え洗剤液の粘度を20～1,000センチポイズ、好ましくは50～500センチポイズに調節(増粘)することを好むとする。

水溶性セルロース誘導体としては、カルボキシメチルセルロース、メチルセルロース、ヒドロキシエチルセルロース等の一般に増粘剤として公知のものが用いられるが、この中でとくにカルボキシメチルセルロースが最も好適に用いられる。水溶性セルロース誘導体の添加量としては、洗剤中通常、0.2～2.0重量%程度が選ばれる。かくすることにより運動用洗剤として使い易いものである。

(4)

セルロース誘導体の中でとくに特定のカルボキシメチルセルロースとして、これの1重量%の水溶液の25℃における粘度が50センチポイズ以上、好ましくは200センチポイズ以上、さらに好ましくは500センチポイズ以上の粘度品で、かつ、そのエーテル化度(グルコース残基1個当りのエーテル置換水酸基の平均値を示す。)が0.8以上、好ましくは1.0以上のエーテル化度のものを選択することにより、できる。  
更に好ましくは溶解することにより、できる。

本発明の液体洗剤は、適度の粘度を有し、予め希釈することなくそのまま洗剤に適用することができ、運動用として好適に使用することができ、またセルロース誘導体の添加により、汚水の分散性、汚れの再付着防止、肌あれ防止等の諸効果も達成される。

次に実施例により本発明を具体的に説明するが、本発明はその要旨を超えない限り以下の実施例に限定されるものではない。実施例において部は全て重量部を示す。

#### 実施例1

トリポリリン酸ソーダ1.5部、蛍光増白剤0.05部、

(6)

特開55-151099(3)

青色染料 0.001 部の各粉末を攪拌下に水に加えて溶解し、これにイソプロピルアルコール 1.0 部、ポリオキシエチレンアルキルエーテル混合物 5.0 部、香料 0.1 部、殺菌剤 0.1 部を混合攪拌して得られた均一溶液に、カルボキシメチルセルロースを攪拌下で添加して分散せしめた液を攪拌しながら加えて、次の組成を有する液体洗剤を調製した。

で使いやすく汚れた木綿製白色運動靴に直接ふりかけ、ブラシで洗って水洗し乾燥したところ、汚れは完全に落ち真白に仕上がっており、運動靴用洗剤として有効であつた。

出願人 ジョーンソン株式会社

ポリオキシエチレン(9.0)アルキル(C <sub>11</sub> -C <sub>14</sub> )エーテル	2.0%
ポリオキシエチレン(12.0)アルキル(C <sub>11</sub> -C <sub>14</sub> )エーテル	3.0%
トリポリ磷酸ソーダ	1.5%
イソプロピルアルコール	1.0%
香料(曾田香料(株)、No. 7490)	0.1%
殺菌剤(アルファ・プロモシナムアルデヒド)	0.1%
螢光増白剤(チバガイギ-社、チノバルCBS-X)	0.05%
青色染料(ブリリアントブルーPOP)	0.001%
カルボキシメチルセルロース (2%水溶液の25℃における粘度が5,000 センチポイズであり、かつ、エーテル化度が1.40)	0.8%
水	バランス

この液体洗剤は、粘度が200センチポイズ(25℃)

(7)

(8)